

平成 24 年 5 月 7 日

日本精神保健福祉士協会  
都道府県支部 支部長様

文部科学省・科学研究費補助金 基盤研究（A）  
実践家参画型効果的プログラムモデル形成評価研究班  
代 表 大島 巖（日本社会事業大学教授）  
効果のあがる退院促進支援プログラムのあり方研究班  
分担研究責任者 古屋 龍太（日本社会事業大学准教授）

「精神障害者退院促進・地域定着支援プログラム  
実践家参画型形成評価プロジェクト説明会」のご案内

新緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本学の「効果のあがる退院促進・地域定着支援プログラムのあり方研究会」の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

このたび、私どものおこなっている研究プロジェクトにつきまして、精神障害者の退院促進・地域定着支援にかかわる「実践家参画型形成評価プロジェクト説明会」を開催する運びとなりました。

幸いに社団法人日本精神保健福祉士協会のご後援を頂けることとなりました。パンフレットを5部同封させていただきますので、ご関心のある皆様にご周知頂けると幸いに存じます。

精神保健福祉士の皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【連絡先】

効果のあがる退院促進・地域定着  
支援プログラムのあり方研究会  
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30  
日本社会事業大学 大島研究室  
Email: kokatekitaisoku@gmail.com  
Tel&Fax: 042-496-3126

実践家参加型形成評価プロジェクト説明会のご案内

# 退院促進・地域定着支援をより効果的に！

～実践家参画による効果モデル形成プロジェクトへのお誘い～

## 実践家参画型形成評価プロジェクト説明会

このプロジェクトの概要と、関心をお持ちの皆様がご参加いただく方法をご相談するための説明会を、以下のとおり開催します。このプロジェクトに関心をもつ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- **日時:**2012年6月3日 日曜日 10:30～16:30
- **場所:**田町グランパーク会議室
- **内容:**
  - 10:30～12:00 実践家参画型形成評価プロジェクトの趣旨・概要の説明、質疑応答
  - 12:00～13:00 昼食
  - 13:00～14:20 効果的プログラムモデル実施マニュアルの説明とグループ検討
  - 14:30～15:50 効果モデル形成のための評価ツールの説明とグループ検討
  - 16:00～16:30 全体討議、今後の共同プロジェクトの進行について
- **参加費:**無料

## 「退院促進・地域定着支援」がもっと効果的になるよう、 実践現場の創意・工夫を反映してみませんか？

精神障害者退院促進・地域定着支援事業は、長期入院を続ける精神障害をもつ方々が地域で自分らしい生活を営む「希望」を実現するための有力な取り組みとして導入されました。実践現場には多くの熱い思いを持った支援者が存在します。しかし、事業開始10年近くが経過しても、いまだにこの事業による病床削減や社会的入院の解消などの成果は見えてきません。その背景には、効果的な実践モデルが未だに形成されておらず、効果的な取り組みについての共通認識が関係者の間に共有されていないことがあると考えます。

私たちは、世界的に発展して来た**プログラム評価の理論と方法論**を用いて、この取り組みを科学的根拠に基づき、効果的なプログラムモデルに構築するためのアプローチ法を開発して来ました。また、その方法を退院促進・地域定着支援プログラムに適用し、効果的モデルの有効性を検証して来ました。

このプログラムをさらに効果的なモデルに発展させ、全国で実施・普及するには、退院促進・地域定着支援に関わる全国の実践家の皆様の参画を得て、**皆さまの創意・工夫**を反映して行くことが不可欠と考えています。退院促進・地域定着支援に関わる皆さまにご参画ご協力頂き、より効果的なプログラムを形成・発展する活動を共に進めてみませんか。

上記のとおり、退院促進・地域定着プログラムの**実践家参加型形成評価プロジェクト説明会**を開催します。このテーマにご関心をお持ちの多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

2012年4月

文部科学省・科学研究費補助金 基盤研究(A)  
実践家参画型効果的プログラムモデル形成評価研究班  
代 表 大島 巖(日本社会事業大学教授)

効果のあがる退院促進支援プログラムのあり方研究班  
分担研究責任者 古屋 龍太(日本社会事業大学准教授)

## ■ こんなことはありませんか？



- 事業の目標・ゴールがあいまい、啓発活動や会議ばかりで成果が見えない
- 自分と職場の同僚やその他の関係者間で目指すべきゴールが違っている
- 地域移行を積極的に進めようとする、「待った」が入る
- 県等の要綱にしばられて、効果的な取り組みができない。要綱通りだと画一的な取り組みになる
- 個別給付化など制度が頻繁に変わり、これまでの取り組みをどう発展させれば良いか不安
- プログラム(事業)の全体像がみえない。
- 目指すゴールは一緒でもアプローチがバラバラ
- 地域移行を進める創意・工夫が反映されない

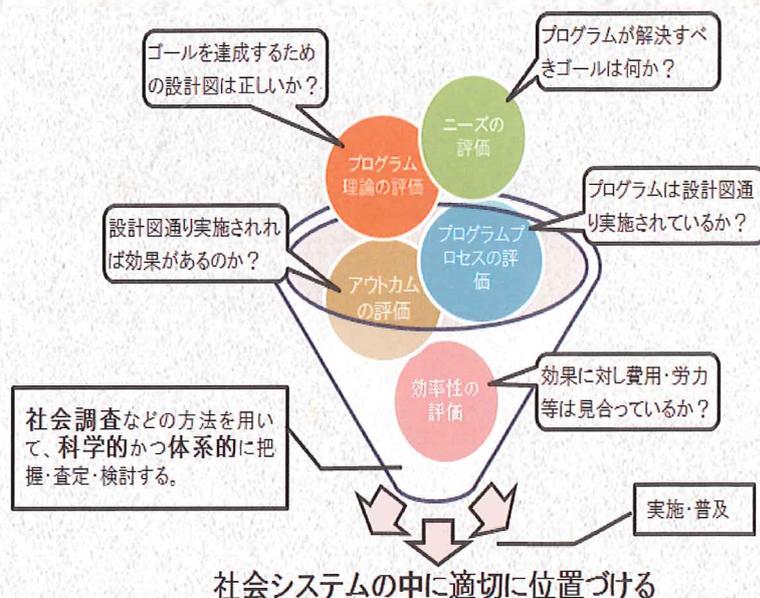
## ■ プログラム評価とは…

まず**社会プログラム**とは、社会問題や社会状況を改善するために設計された、組織的で継続的な取り組みを言います。退院促進・地域定着プログラムもそのひとつです。**プログラム評価**とは、より良い社会プログラムを構築し、改善をはかり、その存廃や発展の方向性に関する意思決定をするために行われる体系的で科学的なアプローチ法のことです。社会調査などの方法を用いて、プログラムのさまざまなレベルの機能や活動、成果(ニーズ、プロセス、プログラム設計、アウトカム、効率)を、科学的かつ体系的に把握・査定・検討し、社会プログラムを社会システムの中に適切に位置づけます。保健・医療・福祉学など対人サービス研究における主要な研究法であるとともに、それ自体が有力な**社会実践活動**でもあります。

## 取り組みを体系的に振り返り、効果的にすることは専門職の職業倫理です

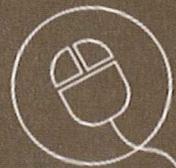
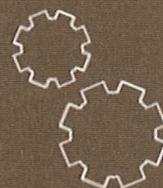
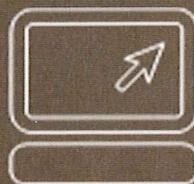
たとえば貴方が病気になり、お医者さんの治療を受けたとします。しかし検査も受けないうまま、いつまでも良ならず、同じ治療法を受け続けたとすれば、その医師は医師の倫理違反で訴えられてもおかしくありません。

退院して地域で暮らしたい、自分の望む仕事をしたい、という利用者の思いにより添う最善の支援を常に考慮し、自らの実践を見直し、支援方法を工夫することが、地域実践の専門家にも、職業倫理として求められます。



## 実践家参画型形成評価プロジェクトにご参加いただく 3つの方法

- 1 実践家参画型形成評価サイト(PPCaFE)や  
    メーリングリストへの参加による意見交換
- 2 効果的プログラムモデル形成評価試行プロジェクト  
    (2013.1より1年の予定)への参加
- 3 効果的プログラムモデル実施マニュアル  
    実践家参画型評価ツール作成ワーキンググループへの参加



## ■ 実践家参画型評価サイト、メーリングリストとは…

私たちが目指しているのは、福祉実践プログラムに関わる実践家の皆さまと、福祉系大学など大学・研究機関が連携・協同して、効果的な実践プログラムモデルを、継続的に改善する「継続的改善アプローチ」です。

実践家参画型評価サイト(PPCaFE)では、効果的なプログラムモデルを具体的に示すための重要な構成要素(効果的援助要素や効果的プログラムモデルのプログラム理論、実施マニュアルなど)を、本プロジェクトで取り上げている各プログラムごとに提示しています。

その上で、実践家の皆様にご参画頂き、実践現場で経験されたことなど率直にご発言頂き、より効果的なプログラムモデルに、発展・形成するために、メーリングリストでの日常的な意見交換を行います。

(サイトURL) <http://ppcfe.com/>



## ■ 効果的プログラムモデル形成評価試行プロジェクトとは…

福祉系大学(日本社会事業大学)と実践現場がパートナーシップを形成して、効果的な実践プログラムモデルの形成に取り組みます。福祉実践プログラムを、根拠の明らかなより効果的なプログラムモデルに形成・発展させるためには、プログラム評価のアプローチ法が不可欠です。それと同時に、実践家の皆さんが、積極的に実践現場の創意・工夫を反映させて、プログラム評価に関与することが求められています。そのために以下のことに取り組みます。

### ■ 効果的プログラムモデル形成評価の実施(1年間)

実践家の皆様の参画を得て、成功事例や失敗体験から得た創意・工夫、重要な要素を抽出し、実際にモニタリングし、プログラムをより効果的にするための“マニュアル”を作成します。

### ■ 効果的プログラムモデルの再構築、更新のための意見交換会へ参加

意見交換会などを通して、効果的プログラムモデルやその実施マニュアルの改訂を行います。

### ■ 共同研究班の“評価ファシリテーター”との連携

“プログラム評価”について学んだ評価ファシリテーターと実践家の皆様が共同して本プロジェクトに取り組みます。

創意工夫をまとめあげ、整理し、  
“効果的プログラムモデル”を作成します。

創意・工夫

創意・工夫

創意・工夫

効果的プログラムモデル

実施・普及

実践現場にある皆様の創意工夫

“効果的プログラムモデル”を実施・普及します。

## ■ 効果モデル実施マニュアル・実践家参画型評価ツール 作成ワーキンググループとは…

退院促進・地域定着支援の実践に関わっていらっしゃる実践家の皆さまと**パートナーシップを形成**し、私どもが開発して来た効果的退院促進・地域定着支援プログラムの効果的援助要素や実施マニュアルの見直しを行い、より実践現場に適合した効果的プログラムモデルを検討します。同時に、効果的プログラムモデル形成評価試行プロジェクトで使用し、実践現場で容易に活用できる形成評価のための評価ツールを共同で開発します。

具体的に共同で取り組む活動は以下のとおりです。

- ✚ 実践にマッチした効果的プログラムモデルの再検討
- ✚ 効果的プログラムモデルの実施マニュアルの共同作成
- ✚ 形成評価ツールの共同作成
  - アウトカムモニタリング法の共同検討
  - フィデリティ評価自己評価モニタリング法の共同検討
  - ウェブ上で、実践現場の創意・工夫を共有化する方法の共同検討(PPCaFEの使用など)



## ■ 説明会会場

田町グランパーク会議室  
東京都港区芝浦3丁目4-1  
田町グランパークプラザ  
03-5441-2122  
JR 田町駅東口(徒歩5分)



## ■ お問い合わせ・申込先:

- ✚ 効果のあがる退院促進・地域定着支援プログラムのあり方研究会  
日本社会事業大学・大島研究室  
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30  
Email: kokatekitaisoku@gmail.com, Fax: 042-496-3126

※このセミナーは、文部科学省・科学研究費補助金基盤研究A「実践家参画型福祉プログラム評価の方法論および評価教育法の開発とその有効性の検証」(2011-2014年度)(研究代表者:大島巖)の概要説明をさせて頂くために開催します。

- ✚ 以下のサイト、あるいはFaxで受け付けています。  
<http://psilocybe.co.jp/2012/0603/>

●●Faxで参加申込書の際には、下記をご連絡ください●●

① 所属名、②お名前(ふりがな)、③ご住所、④お電話、⑤ご参加人数

- ✚ 申込み締切日:平成24年5月30日(水曜日)